

くるめマスターCBT プログラム実施業務公募型プロポーザルの実施に関する質問及び回答について

○質問内容の文言については編集を行っています。

番号	質問内容	回 答
1	仕様書 1 ページ 1 (3) ①「マスターテスト」「やり直しテスト」の想定実施時期はいつですか。	第1学年1章「正の数・負の数」は5月、2章「文字と式」は6月、3章「方程式」は9月、4章「比例と反比例」は11月、5章「平面図形」は1月を想定しています。 第2学年1章「式の計算」は5月、2章「連立方程式」は7月、3章「一次関数」は11月、4章「図形の性質と合同」は1月、5章「場合の数と確率」は3月を想定しています。 学校によって学習進度が若干異なりますので、実施月・実施日は各学校で設定します。 なお、初年度のみ、1章・2章は7月頃の実施を想定しています。
2	仕様書 3 ページ 『2 (2) ⑤ 処理能力：市内の生徒の全員（2学年：約5200人）の同時使用に足る情報処理能力をもつこと』に関する質問 「市内の生徒の全員（2学年：約5200人）の同時使用に足る情報処理能力をもつ」とは、同日同時間の実施ですか。それとも、他自治体と同様に、日時を分散した上で、実施を可能にする情報処理能力を用意するということでしょうか。	実施日、実施学年、実施時間については、各学校の都合に合わせて、学校毎に設定します。全ての学校・学年が同日同時間を希望する可能性もありますので、そのような仕様にしています。

番号	質問内容	回 答
3	仕様書 3 ページ『2 (2) ⑥ CBT 機能：キ テストは教師が「公開」（時間設定もしくは公開ボタンを押す等）で、生徒が解答できるようになること。また、テストの終了や答案返却についても、教師の意図が反映できるよう工夫すること』に関する質問 調査の実施日や結果の公開日については、期間内は常時利用可能とした上で各学校に委ねるという認識でいいですか。	そのような認識です。実施日、実施学年、実施時間は、質問 1 で回答した想定時期に各学校が設定します。その期間までに、テストの公開、終了、自動採点、答案返却等が利用可能になるように準備をしていただきたいと思います。
4	仕様書 3 ページ『2 (2) ⑧ 生徒用アカウント管理：イ 登録：各学校で必要項目を入力できるExcel形式等のフォーマットが提供され、そのフォーマットを使って簡単に登録できること』に関する質問 生徒の登録については、提供された一括した情報を業者が設定するのではなく、学校ごとに設定するということですか。	ご指摘のとおり、生徒の登録については、各学校で設定を行うことを想定しています。学校が容易に登録を行えるような提案をいただきたいと思います。
5	仕様書 4 ページ『2 (4) 教科に関する実施問題の作成 ⑥やり直しテストは3回以上実施できること』に関する質問 同じ問題を何度も解けるということですか。また、複数回受検した場合、毎回の履歴を閲覧できる必要がありますか。	2 (4) ⑤に記しているとおり、「マスターテストに数値の変更を加えた問題を 3 回以上用意し、2 (2) ⑦エに記している通り「1 年分のマスターテスト、やり直しテストの学習履歴が閲覧でき、8 割合格の達成状況を視覚的に確認できるように工夫する」という仕様になっています。
6	仕様書 4 ページ『2 (4) 教科に関する実施問題の作成 ⑧ マスターテスト、やり直しテストは、プリントアウト用としてテストデータをPDFにて各学校及び教育委員会に提供すること。』に関する質問 CBTで実施した問題と同じ内容ですか。出力用に別途、解答欄や解答用紙、解答解説を用意する必要はありますか。また、採点は学校が行う想定でいいですか。	プリントアウト用のテストデータ PDF 版は、CBT で実施したマスターテスト、やり直しテストと同じ内容のものです。模範解答も合わせてご準備ください。採点は、学校が行います。